

東京工業大学 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援





シンポジウム2016 理工人の未来設計

コース所属生・修了生たちの グローバルな活躍

発展途上国の魅力と海外で働くことの可能性 江口 徹 (修士2年)

平凡な東工大生が英語で世界に挑んだキセキ

海宝 慎太郎 (学士4年) 氏家 大祐 (学士4年)

気づいたらトイレシャワー作っていた学部生活

古橋 知樹 (学士3年) 大野 馨子 (学士4年) 田代 尚己 (学士4年)

500 550 540

日時: 2017年1月11日(水) 16:50~18:30

会場:東京工業大学大岡山キャンパス 西9号館2階

デジタル多目的ホール

入場無料・事前登録不要

主催・問合先:グローバル人材育成推進支援室

ghrd.info@jim.titech.ac.jp 03-5734-3520

www.ghrd.titech.ac.jp/w

Facebook, twitter(@titech_ghrd)も公開中

東京工業大学

経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援 シンポジウム〈理工人の未来設計〉2016

テーマ:コース所属生・修了生たちのグローバルな活躍

日時:1月11日(水)16:50-18:25

場所:大岡山キャンパス 西9号館2階 デジタル多目的ホール

司会: アーナンダ・クマーラ(グローバル人材育成推進支援室 特任教授)

16:50-17:00 開会メッセージ 丸山俊夫 理事・副学長

17:00-17:20 発展途上国の魅力と海外で働くことの可能性

江口徹君(工学部経営システム工学科卒、 現在社会理工学研究科経営工学専攻 M2)

コース所属の学部 3 年時にインドネシアのバンドン工科大学サマースクールに参加し、アジアに興味を覚えた。大学院修士課程 1 年次には経済産業省国際即戦力育成のプログラムに応募、ベトナムの現地企業で 3 か月間インターンシップを行う。現地日本企業で働く東工大卒業生も訪問した。海外と係る仕事をする意欲と能力を身につけたこれまでの足跡を語る。

17:20-17:50 平凡な東工大生が英語で世界に挑んだキセキ

海宝慎太郎 (国際開発工学科 4 年)、氏家大祐 (国際開発工学科 4 年)

国際学生デイベート大会(2015)への参加学部生チーム

日本人があまり得意としない Debate 分野で、5 大陸から 1500 人が参加した英語による世界大会に挑戦し、英語を母国語としない国のカテゴリーであるが、決勝リーグ進出 (Best 8) を果たした。メンバーのうち 2 人は出場時にデンマークとドイツの協定校に短期留学中であった。同世界大会への参加、あるいは留学など様々なことにチャレンジし、迷いながらも自分たちの将来を選択してゆく姿を語る。

17:50-18:20 気づいたらトイレシャワー作っていた学部生活

古橋知樹(化学工学科3年)、大野馨子(建築学科4年)、田代尚己(生命工学科4年) グローバル人材育成フォーラム 英語のプレゼンテーション大会(2015)での発表学部生チーム 「アジアとの協働」が題材とされたプレゼン大会で東工大チームは「清潔なトイレ」をテーマとし て非電化式トイレ用洗浄シャワーに関して試作品を作成、アイデアを発表した。会場アンケート結 果は8校中1位(審査員評価は2位)となった。イベントのあともアイデアの特許申請を行い、将 来は海外でのプロジェクト化を目指している。イベントへの挑戦と併せて、普段から実践している 様々な活動とグローバルな活躍を目指すキャリアへの思いを各メンバーが語る。

18:20-18:25 まとめ、閉会挨拶 須佐匡裕先生